

第2回 下水道事業運営審議会 議事録

【開催日、場所】令和4年1月4日（金） 住田町役場 町民ホール

【出席者】三尾委員、金野委員、林崎委員、阿部委員、千葉委員、泉委員、紺野委員、事務局4名

○協議

①将来を見通した財政投資計画

（事務局）会長より会議の進行をお願いいたします。

（阿部会長）それでは、協議事項に移ります。投資財政計画についてです。事務局、説明をお願いします。

（事務局）～資料1により説明～

（阿部会長）皆さん方のご意見、ご質問等あればどうぞお願いいたします。

（委員）わからないので、質問できない。いずれ今の経営状態は結構いい状態ですよ。

（事務局）純利益は出ています。資本的収支の不足分も収益的収支で補てんで、かつ現金も微増でできている経営状況です。維持管理等の費用が増えるや予想以上の下水道人口の減となった場合、今の予測よりは純利益が低くなる可能性はあります。

（委員）下水道本管付近にある程度の建物を建設する、つまり下水道区域外でも建物を建設し接続できるようにすれば、収入が上がるといった考え方もある。人口は減少するが、下水道利用者を増やせれば、使用料収入は維持できると思う。

その点はどう考えていますか。事業開始当初、様々な基準で下水道区域外の場所もあるが、そのような取り組みで戦略的な動き方をすればいいのではないかと。

（事務局）下水道区域の設定の際、個別に下水道の接続の有無を聞き取り、区域を定めていました。世田米地域でも下水道区域外の土地はあります。

（委員）区域外の方には理解していただき、加入できるような形をとればいいのではないかと。少し規制を柔らかくして、区域外でも下水道に加入してもらおうという考え方はどうか。

（事務局）下水道法において区域外流入という考え方はありますが、町条例では区域外に係る部分の記載がありません。新たに条例制定を検討し、区域外の方も加入できるように検討していきたい。

（委員）集落の再編から始まらないとなかなか難しい。新築を区域内で建ててもらえればいいがそれは難しい。あくまでも本人の意思なので。

（阿部会長）その他ございませんか。それではよろしいでしょうか？

次に経営戦略の目標指標、経営方針について、事務局より説明をお願いします。

（事務局）～資料2により説明～

（阿部会長）経営戦略内の経営方針、目標指標について、ご質問ご意見があればどうぞお願いします。

（委員）使用料単価を185円に固定と、目標指標の汚水処理原価275円。この差は何か説明してほしい。汚水処理原価よりも使用料単価が安いというのは経営が良くないのでは。

（事務局）現状の使用料単価が185円、それに対して1㎡当たりの費用、汚水処理原価275円となっています。1㎡275円の費用に対して、いただいている使用料が185円。その率が経費回収率になります。

（委員）そうすると100%にはならないということか。

（事務局）原価に対して使用料単価が低い、足りない分を一般会計繰入金で賄っているということになります。

（委員）繰入金を充当した上でこの数字になるのか。

（事務局）そうです。そして、それを踏まえての経常収支比率になります。

（阿部会長）その他ありますか。どうですか。

（委員）説明された言葉、議論の前提がわからない。例えば内部留保という話がありましたが、内部留保とはどういうことですか。全然どこにも説明の記載がない。

- (事務局) 現金の支出が実際に出ないもの、具体的には減価償却費から営業外収益の長期前受金戻入というのがあります。
- (委員) ですから、私達はそういう言葉の意味が理解できないです。使用者に対して理解できるものでないと委員に選任された意味がない。覚えられません。前提がわからない。
- (阿部会長) 専門的な部分を我々に説明していますがわからない部分もあります。
- (委員) 貸借対照表の資本金ってありますが、これは毎年変わるのでしょうか。
- (事務局) 資本金自体は利益剰余金にある未処分利益剰余金を資本金に繰り入れる場合は、資本金が増える。何も処分しない場合は、資本金の額はそのままです。純利益が翌年度の剰余金として繰り越されることになります。
- (委員) 企業では剰余金は変わらない。純利益が生じた場合、純利益分だけ増えて、資本金が増えわけではない。国の決まりなのですか？
- (事務局) (利益を) 処分をするのであれば、こういうことになります。
- (委員) さきほど話に出ました長期前受金戻入ですか、これはなんですか。
- (事務局) 長期前受金戻入は過去に補助金により取得した施設を減価償却する場合、償却に対応する補助金分を収益として見るという考え方です。例えば 100 万円の資産を取得し、100 万のうち 50 万円を補助金で充てた場合で、5 年償却すると年間 20 万円のうち 10 万は収益として見るということになります。
- (委員) それが長期前受金戻入、その収益が 9000 万入ってきたということか。
- (委員) 補助金をもらい、償却した。償却した補助金分は返さなくていいのだから、収入になるという論理でいいですか。これは毎年この規模で続くのですか。
- (事務局) 減価償却が終われば、収益は発生しません。
- (委員) 普通は減価償却すれば、現金が増えていく。補助金により建てたとしても償却は見る。毎年次回更新のために、減価償却は見ていく。この補助金の償却分は分からないだけに、もう少しかみ砕いて説明してもらいたい。
- (阿部会長) 収益をみても、一般会計から繰入金が必要ということで、本来の形はどうあるのべきか。その他にございませんか。
- (委員) 下水道使用料がありますが、合併処理浄化槽の方々とのバランスは調査したことありますか。
- (事務局) 下水道使用料と合併処理浄化槽の各費用は、合併浄化槽は年 4 万 5000 円～5 万円。年 1 回の清掃、年 3 回の保守点検、法定費用の検査も含めると、年 4 万 5000 円。下水道使用料については、年平均 4 万円で、大きな差は生じていないと思っております。
- (委員) 汚水処理原価を見ると、上昇傾向で令和 12 年以降も高くなると感じる。将来厳しくなるのでは。
- (事務局) 使用水量が減り、維持管理費等は上がり、もしくは横ばいで予測している投資財政計画ですので、汚水処理原価は上がるグラフになっています。
- (委員) 令和 12 以降は今のところ経営は難しいということですね。
- (事務局) あくまで 10 年間の予測で、5 年に 1 回、実情と比較して検討した上で、計画修正の有無を決定したい。そして再度また 5 年の推移を見ていきたいというのが今の計画になります。
- (委員) 計画期間は 10 年間で、5 年ごとに見直したいということですね。
- (阿部会長) その他ございませんか。
次に下水道使用料についてです。事務局より説明をお願いします。

(事務局) ～資料 3 により説明～

- (阿部会長) 皆様のご意見、ご質問ありましたらお願いします。
- (委員) 現時点で、施設更新費用の財源はいくらですか。
- (事務局) 更新できる費用は年間 1500 万で、現金が微増していくと予測しておりますので、現時点では年間 1500 万の財源はあると考えています。
- (委員) 単年 1500 万で、2 年で 3000 万円になるということか。減価償却分は増えるわけだから、間に合うという話で、一般会計からの繰入金がなくなっても大丈夫か。
- (委員) 足りなくなった時の使用料ですよ。費用に対して財源が足りるので使用料を上げなくてもいいのでは。

- (阿部会長) 本来は使用料収入で費用を賄えればいい。使用量に係る料金と基本料金とのバランスは、考えていく必要はあるかと思う。更新の財源は年240万円があるということでもいいですかね。
- (事務局) 単年で239万3000円は料金収入から更新の財源としてできます。
- (阿部会長) これは皆さんから、それぞれご意見を伺いたいです。
- (委員) 全体通して、当面の経営は良さそうかなと。建設改良費に対して、収益的収支で賄えるかと。あとは、施設にどのくらい費用がかかるか。その全体の費用が出てこないと分からない。決算書の貸借対照表を見る限りだと経営は大丈夫かと。
- (委員) 毎年300万の純利益で、現在1500万あると。足りなくなっても現金があるので大丈夫でしょという理解です。
- (委員) 下水道の料金体系により、今よりも財源が間に合わない、当面ないとは思いますが、その場合は住民の負担を軽くしていただければと思います。
- (委員) 経営が苦しくなければ料金はこのままでいいのかと。苦しい場合は早めに伝えないと。お金が足りなくなる前に料金上げをしないといけないと思う。事業のための財源は事業の中で確保するのが筋だと思う。いつ、どのくらい必要になるか、はっきりしてないので、はっきりしていただければと思います。
- (阿部会長) 私からも一言、今の計画では利用者が大幅に変わる部分が考えられる。計画の見直しをするという話なので、十分考慮しながら、経営計画を見て欲しいと思います。その他、皆さんから全体で何かございませんか。
- (委員) 使用料については、下げるのには喜ばれるが、上げるのには抵抗が生まれる。そこを踏まえながら考えていくことが必要。
- (委員) 使用料は上げないでやってほしいということ。
- (阿部会長) 意見を皆さん出していただきましてありがとうございます。これで本日の協議は以上となります。
- (事務局) ご意見、大変ありがとうございました。審議会は今年度3回を予定してございます。これまで2回の協議結果などをまとめまして、またご意見をお伺いしたいと思います。これで第2回目下水道事業運営審議会を終了させていただきます。